(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2004-236831
(P2004-236831A)
(43)公開日　平成16年8月26日(2004.8.26)

(51)Int.Cl.[7]	F I		テーマコード（参考）
A47B 96/02	A47B 96/02	B	
	A47B 96/02	L	

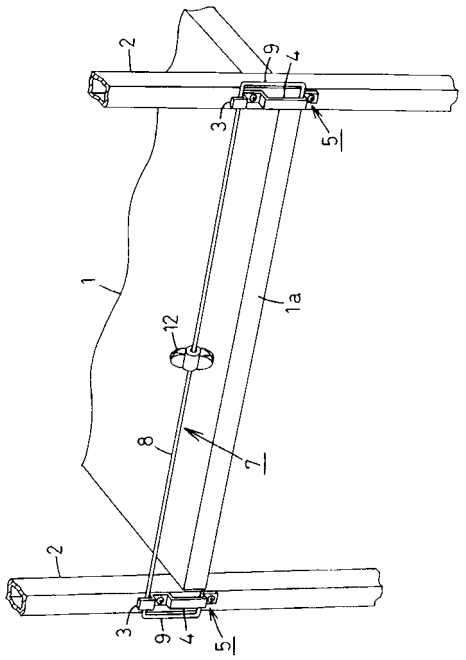
審査請求 未請求　請求項の数 6　ＯＬ　（全 7 頁）

(21)出願番号　特願2003-28809(P2003-28809)
(22)出願日　平成15年2月5日(2003.2.5)

(71)出願人　000000561
株式会社岡村製作所
神奈川県横浜市西区北幸２丁目７番１８号
(74)代理人　100060759
弁理士　竹沢　荘一
(74)代理人　100087893
弁理士　中馬　典嗣
(72)発明者　紫葉　澄雄
神奈川県横浜市西区北幸二丁目７番１８号
株式会社岡村製作所内
(72)発明者　小林　喜彦
神奈川県横浜市西区北幸二丁目７番１８号
株式会社岡村製作所内

(54)【発明の名称】棚装置

(57)【要約】
【課題】棚板の前面に設けられる保管物品の落下防止部材を利用して、目印機能をも付与する棚装置を提供する。
【解決手段】棚板１の前部上方に配設され、かつ棚板１上に載置される保管物品が棚板１の前方へ落下するのを阻止する左右方向を向く落下防止部材７に、保管物品の収容位置を示す目印部材１２を、左右方向に取付位置調節可能として装着する。
【選択図】　図１



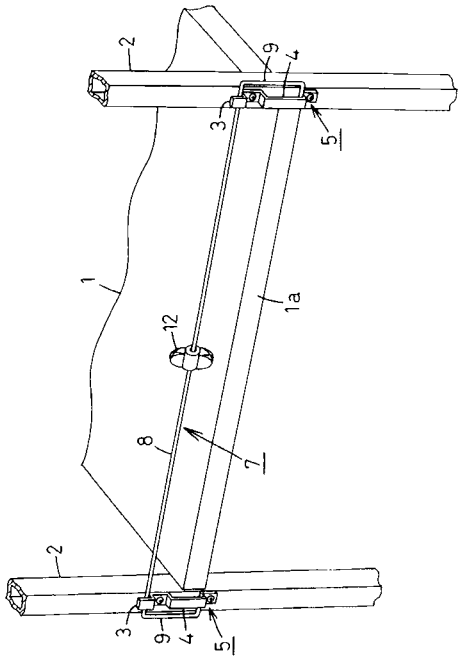
【特許請求の範囲】
【請求項１】
棚板の前部上方に配設され、かつ棚板上に載置される保管物品が、棚板の前方へ落下するのを阻止する左右方向を向く落下防止部材に、保管物品の収容位置を示す目印部材を、左右方向に取付位置調節可能として装着したことを特徴とする棚装置。
【請求項２】
落下防止部材を、棚板前部側の左右の支柱に設けた左右１対の受け止め具に係止した左右方向を向く棒材とし、該棒材に、目印部材を左右方向に移動可能に取り付けた請求項１記載の棚装置。
【請求項３】
落下防止部材を、保管物品の前方への落下を阻止する阻止位置と、保管物品の前方への取出しを可能とする解除位置とに、移動可能とした請求項１または２記載の棚装置。
【請求項４】
目印部材を、環状のものとし、これを落下防止部材に挿通した請求項１～３のいずれかに記載の棚装置。
【請求項５】
目印部材を、円周の一部を切り欠いた環状の、若干弾性を有する材質のものとし、これを、その切り欠き部分で落下防止部材に外部からはめ込んだ請求項１～３のいずれかに記載の棚装置。
【請求項６】
目印部材を、クリップ状のものとし、これを、落下防止部材に外部から挟み止めた請求項１～３のいずれかに記載の棚装置。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、棚装置、特に、書架等における保管物品位置表示装置に関する。
【０００２】
【従来の技術】
従来、病院等において使用され、多量のカルテを分類収容し、確実に効率よく取出しまたは返却するようにするカルテファイル管理棚がある（例えば、特許文献１及び２参照）。
【０００３】
【特許文献１】
特開平８－２６２６号公報（第３～５頁、図１～５）
【特許文献２】
特開２０００－３０９４１０号公報（第３～５頁、図１～３）
【０００４】
【発明が解決しようとする課題】
しかし、このような従来公知のものは、多量のカルテを保管しておく必要性から、装置が大がかりなものとなっている。しかし、一般のオフィス等においては、そのような大がかりな装置は必要とせず、書籍またはカタログを決められた位置から取り出し、この決められた位置に戻すことができればよいだけである。
【０００５】
書籍やパンフレットが厚い場合には、さほど問題がないが、パンフレットのように薄いものが対象の場合には、このような決められた場所を捜して返還することは、大きな問題となる。
【０００６】
本発明は、上述の問題点に鑑み、棚板の前面に設けられる物品の落下防止部材を利用して、目印機能をも付与した棚装置を提供することを目的としている。
【０００７】
【課題を解決するための手段】

本発明によると、上記課題は、次のようにして解決される。
（１）　棚板の前部上方に配設され、かつ棚板上に載置される保管物品が棚板の前方へ落下するのを阻止する左右方向を向く落下防止部材に、保管物品の収容位置を示す目印部材を、左右方向に取付位置調節可能として装着する。
【０００８】
（２）　上記（１）項において、落下防止部材を、棚板前部側の左右の支柱に設けた左右１対の受け止め具に係止した左右方向を向く棒材とし、該棒材に目印部材を左右方向に移動可能に取り付ける。
【０００９】
（３）　上記（１）または（２）項において、落下防止部材を、保管物品の前方への落下を阻止する阻止位置と、保管物品の前方への取出しを可能とする解除位置とに移動可能とする。
【００１０】
（４）　上記（１）～（３）項のいずれかにおいて、目印部材を、環状のものとし、これを落下防止部材に挿通する。
【００１１】
（５）　上記（１）～（３）項のいずれかにおいて、目印部材を、円周の一部を切り欠いた環状の、若干弾性を有する材質のものとし、これをその切り欠き部分で落下防止部材に外部からはめ込む。
【００１２】
（６）　上記（１）～（３）項のいずれかにおいて、目印部材を、クリップ状のものとし、これを落下防止部材に外部から挟み止める。
【００１３】
【発明の実施の形態】
図７は、本発明を適用した１例として、前後両側から、書籍、カタログ等の保管物品を載置できる鋼製の組立式書架（Ａ）を示す。この書架（Ａ）の前部および後部には、複数段の鋼板製の棚板（１）が取り付けられている。棚板（１）は、その左右両端を支柱（２）（２）により支えられている。棚板（１）の前面（１ａ）に、本発明の装置が適用される。
【００１４】
図１～図３は、本発明の実施形態を示し、図１は、棚板の前面に実施した状態を示す斜視図、図２は、その落下防止部材の支柱への取付部分を示す拡大斜視図、図３は、落下防止部材の支柱への取付部分を示す拡大縦断面図である。
【００１５】
これらの図に示すように、棚板（１）の前部における左右の支柱（２）（２）の前面には、上端部にＬ字状をなして前方へ突出する受け部（３）を有し、かつ下端部に、高さが受け部（３）のＬ字の縦腕よりも高寸の後向きコ字状をなす枢軸ガイド部（４）を有する受け止め具（５）が、２本の止めねじ（６）により取り付けられている。
【００１６】
落下防止部材（７）は、鋼棒のような棒材を折り曲げて形成したもので、左右の端部が、受け止め具（５）の受け部（３）に係止されるのに充分な長さを有する左右方向を向く横杆（８）と、この横杆（８）の左右の両端近傍から垂下する縦杆（９）と、各縦杆（９）の下端より左右内向きに折り曲げられて形成された枢軸（１０）とを備えている。
【００１７】
枢軸（１０）を、左右の受け止め具（５）の下部に設けた長孔（１１）に、上下動可能に、かつ枢軸（１０）の軸線回りに回動可能として嵌合することにより、図２に実線により示す、横杆（８）が棚板（１）の前上方に位置する阻止位置と、同図に想像線により示す、横杆（８）の両端部が受け止め具（５）の受け部（３）から外され、かつ横杆（８）が、枢軸（１０）及び棚板（１）の上面より垂れ下がる解除位置とに移動可能となっている。

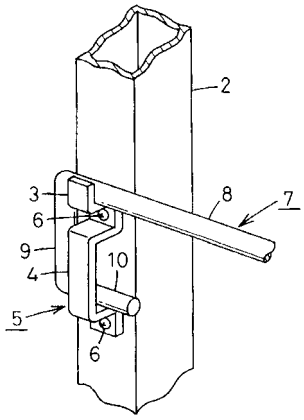
【００１８】
図１に示すように、落下防止部材（７）の横杆（８）には、プラスチック材、ウレタン、ゴム等の材質で環状に形成された目印部材（１２）が、ある程度の摩擦抵抗を伴って、左右方向に移動可能に挿通されている。
【００１９】
目印部材（１２）の外形は、図１に示した例に限らず、図４に示すような算盤玉形状その他任意の所望の形状とすることができる。
【００２０】
このような構成であるので、棚板（１）上に載置された取り出すべき書籍、カタログ等の保管物品の位置に目印部材（１２）を移動させた後、落下防止部材（７）の横杆（８）を一旦持ち上げて、Ｌ字状の受け部（３）をかわし、前方に回動させて手を離せば、落下防止部材（７）は、図３に想像線により示す解除位置に落ちつき、所望の保管物品を取り出すことができる。
【００２１】
その後、落下防止部材（７）の横杆（８）を掴んで、これを上方に回動させ、Ｌ字状の受け部（３）に引っかけると、落下防止機能が快復する。
【００２２】
保管物品を戻す際には、再び落下防止部材（７）を解除位置に下げ、目印部材（１２）によって示される元の位置に保管物品を戻し、その後、落下防止部材（７）の横杆（８）を掴んで、これを上方に回動させ、Ｌ字状の受け部（３）に引っかけると、落下防止機能が快復する。
【００２３】
不使用時には、目印部材（１２）は、横杆（８）の左右端いずれかの位置に置いておくとよい。
【００２４】
図５には、目印部材（１２）を、円周の一部を切り欠いた環状の、若干弾性を有する材質のものとし、これを、その切り欠き部分で落下防止部材に外部からはめ込んだものとされている。
【００２５】
図６では、目印部材（１２）を、クリップ状のものとし、これを落下防止部材に外部から挟み止めたものとされている。
【００２６】
上述の各実施形態の説明では、目印部材（１２）を１個として述べたが、その数は任意であるのはもちろんである。
【００２７】
【発明の効果】
請求項１記載の発明によれば、棚板の前面に設けられる保管物品の落下防止部材を利用して、目印機能をも付与し、書架から書籍、カタログ等の保管物品を取り出した際、その取出し位置を、機械的な手段により目印しておき、この保管物品を返却する際、これを簡単確実に元の位置に戻すことができる。
【００２８】
請求項２記載の発明によれば、単純簡単な構成により落下防止部材を形成することができる。
【００２９】
請求項３記載の発明によれば、落下防止部材を簡単に操作して、保管物品の落下阻止及び保管物品の取出しを図ることができる。
【００３０】
請求項４記載の発明によれば、目印部材を常時使用可能位置に保持することができる。
【００３１】
請求項５記載の発明によれば、必要に応じて任意所望の数の目印部材を、外部から取り付

けることができる。
【００３２】
請求項６記載の発明によれば、必要に応じて、任意所望の数の目印部材を外部から簡単に取り付けることができる。
【図面の簡単な説明】
【図１】本発明棚装置の実施形態を備えた書架の棚板の前部付近の部分斜視図である。
【図２】同じく、書架の支柱を併せて示す棚装置の部分拡大斜視図である。
【図３】同じく、書架の支柱を併せて示す棚装置の部分拡大縦断面図である。
【図４】同じく、目印部材の変形例の拡大斜視図である。
【図５】同じく、目印部材の他の変形例の拡大側面図である。
【図６】同じく、目印部材のさらに他の変形例の拡大側面図である。
【図７】本発明棚装置を適用する書架の斜視図である。
【符号の説明】
（Ａ）書架
（１）棚板
（１ａ）前面
（２）支柱
（３）受け部
（４）枢軸ガイド部
（５）受け止め具
（６）止めねじ
（７）落下防止部材（受け止め具）
（８）横杆
（９）縦杆
（１０）枢軸
（１１）長孔
（１２）目印部材

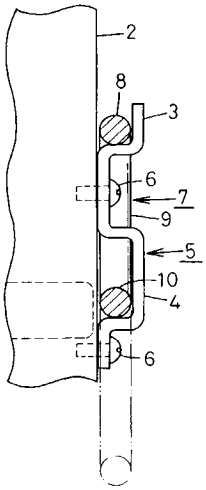
【図１】



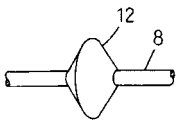
【図２】



【図３】



【図４】



【図５】



【図６】



【図７】

